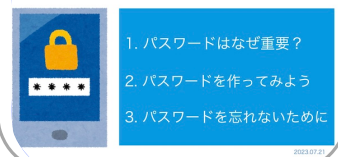


パスワードマスターになろう



1人1台のICT端末とクラウドのIDを配布するタイミングで、パスワードに関する指導が必要です。パスワードとは何か、なぜ設定する必要があるのか、失くしたり忘れたりしたらどうなるのかなど、パスワードの概念をわかりやすくイメージできるように、児童生徒がパスワードの重要性を理解できる時間を設けましょう。伊那市地域おこし協力隊の浅利芙美さんは市内の小中学校を訪問して「ICTリテラシー教育」の出前授業を行っています。

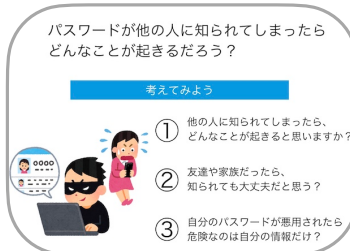
パスワードマスターになろう



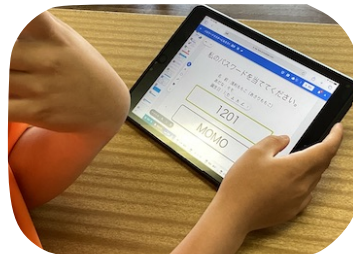
①パスワードを設定する機会がありません。漏洩したらどんなことが起こるかを具体的にイメージしてもらい、パスワードの重要性を伝えます。



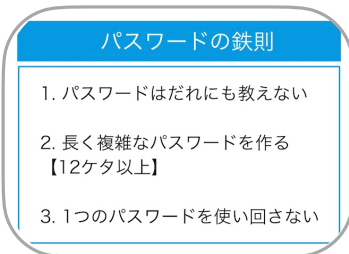
②次の事故の原因はなんでしょう。「9歳の男の子が車を運転して交通事故を起こしました。お母さんのカギを盗んで運転していたのです」



③「パスワードが他の人に知られてしまったらどんなことが起きるだろう？」想像力を働かせながら、子ども同士で意見を出し合います。



④「私の名前と誕生日からパスワードを作りました。当ててください」という課題に取り組みます。schoolTaktに予想を書き込み、簡単なパスワードはいとも簡単に見破れることを実感。



⑤「パスワードの鉄則」を3つに絞って伝えます。長く複雑なパスワードは、作るのも、忘れないようにするのも大変です。「そのため覚えやすいパスワードにしがちですが、それはNG！」



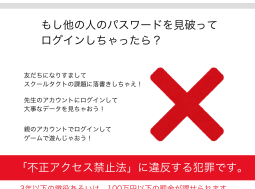
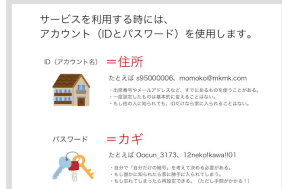
⑥実際にパスワードを作る練習をします。名前をもとに原型がわからない暗号に変える3つの方法を紹介します。さらに、記号や数字と組み合わせ、子どもたち自身で複雑なパスワードを作り上げます。

パスワードマスターになるための授業を実施しましょう

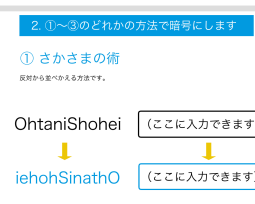
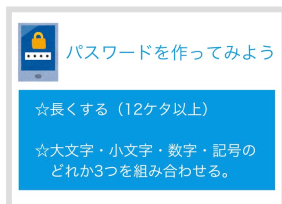
児童生徒の成長段階に応じて、IDやパスワードをわかりやすく説明する工夫が必要です。パスワードは他人に教えてはならないこと、自分でしっかり管理する必要があることを、学年を問わず指導していくことが大切です。イラストや身近な例えを使うことで、児童生徒が理解しやすくなるでしょう。

推進センターでは、schoolTaktを活用したわかりやすい出前講座を実施しています。先生方もこの出前講座を受講することをおすすめします。出前講座を希望する場合は、伊那市教育委員会または推進センターまでお問い合わせください。

パスワードはなぜ必要か考えましょう



実際にパスワードを作ってみましょう



パスワードは忘れないようメモしていい？



↑ 浅利さんの授業ダイジェストはこちら

さまざまなサービスを利用する際にはアカウントが必要になります。まず、IDとパスワードについて説明した後、パスワードの管理は重要で、自分や大切な人を守ることを確認します。

実際に他人の情報からパスワードを予想してみるなどの活動を行い、安易なパスワードの危険性について知ります。

この授業での体験をもとに推測されにくいパスワードを実際に作成する実習を行います。

作ったパスワードの安全性を確かめ、安全に覚えておくためのメモの仕方について学びます。

最後に「自分じゃない人がログインしたような気がする」など不安がある時には先生や大人にすぐに相談することを確認します。

この授業に関する情報は共有ドライブ「ICT活用教育DB」にありますのでご覧ください。

地域おこし協力隊の浅利芙美さんが、手良小学校の6年生に行った出前授業の様子をもとに推進センターで編集させていただきました。

伊那市では、「学校教育情報化ビジョン2021」をもとに、iPadを導入して「ICT活用教育」を推進しています。

伝統的
学びを深めるICT活用

先進的
学びに導くICT活用

「Society5.0」時代の
学びを支える教員

個別最適な学び・対話的学び
創造性を育む学びの実現